

市立病院だより



～ 「大声を出さない」 ～ 病院管理者 武富 章

新型コロナウイルス感染症対策を検討する厚生労働省の「アドバイザリーボード」は7月30日、感染状況について「接待を伴う飲食店や友人・知人との会食、飲み会を介した感染拡大が続いており、地方でも感染拡大が生じている。一部地域では感染拡大のスピードが増しており、憂慮すべき状況だ」と分析し、感染拡大防止を呼びかけました。また、「基本的な感染対策が行われていれば、スーパーでの買い物や公共交通機関、オフィスで感染が拡大する状況ではない」と指摘しました。ただ、「3密」と「大声」による感染リスクは高いとしています。感染経路として飛沫感染と接触感染に加え、「マイクロ飛沫感染（エアロゾル感染）」が世界的にも重要と認識されてきている」と述べています。

現在、飯塚市立病院では、来訪者の皆様に院内でのマスク着用、待合室での密集を避けることにご協力いただいています。また、発熱症状がある患者さんには午後からの「発熱外来」を受診していただいております。院内感染予防に留意しております。ただ残念なことに、耳の遠い高齢患者さんのなかにはマスク越しに大声でお話される方もいらっしゃいます。これはぜひやめていただきたいものです。他の患者さんの迷惑になりますし、もし、ご自身が感染者であったら他の方にマイクロ飛沫感染させてしまう原因にもなりかねないからです。

皆さんが安心・安全の医療が受けられるよう、他の方の前では「大声を出さない」よう切にお願いいたします。



当院では、平日の午後3時より、糖尿病教室を開催しています。糖尿病患者さんやその家族、また、糖尿病に興味のある方が対象です。2週間を1サイクルとし、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、検査技師、薬剤師がそれぞれの専門分野を活かし、45分間の講義を行っています。糖尿病の正しい知識をつけてもらうことが目的ではありますが、会話の中から、小さな気づきが生まれたり、自分の生活を見直したり、元気をもらったり、など、糖尿病と共に生活されている方々のいい交流の場になれば何よりだな・・・と考えています。

思わず熱が入って一方的にしゃべりすぎることもありますが、なるべく患者さんの声を聞くこと、しかしながら、プライベート（特に病気のこと）を話したくない患者さんもおられるので注意すること、も長年の講師の立場で学んだことです。現在はコロナの感染防止に気を配り、密は避け、喚起をしながら、マスク着用での教室運営を行っています。通常は、8階入院の患者さんの参加が主ですが、どなたでも無料で参加出来ます。



水の重要性とからだの水分

栄養管理室 室長 古林 美保

私たちの体の半分以上は水分で出来ています。最も水分量が多いのは赤ちゃんで、体重の80%が水です。赤ちゃんがみずみずしいのは新陳代謝が活発で代謝には水が不可欠だからです。幼児は約70%、成人になると男性は約60%、女性は約55%、さらに高齢者では約50%と減っていきます。



では水は体のどこに蓄えられているのでしょうか。成人男女の水分差は筋肉の差です。実は体内で最も多くの水を抱えているのは筋肉の細胞なのです。筋肉が水のタンク役となっています。体の水分は「体液」が主成分であり電解質（ナトリウム、カリウム、カルシウム）が溶け込んでいます。私たちの身体はおよそ60兆もの細胞からなっており、体液はその細胞の内外を往来して全身を駆けめぐり、生命を維持する上で重要な役割を担っています。

では1日どの程度の水をとればいいのでしょうか？健康な人の1日に体から出ていく水は約2,500ml。汗が約500ml、呼吸で蒸発が約500ml、尿便で約1,500ml。摂取する水分は出ていく量と同じくらい摂る必要があります。入る水は食事に含まれる水分約1000ml（ご飯や汁など食品に含まれる水分）体内で生成される代謝水約300mlなので、残り1,300mlが飲水として必要となってきます。毎食の飲水はもちろんですが、寝ている間に汗として水分が失われる為、就寝前と起床時にも補充が必要です。又入浴前後や運動などで汗をかいたタイミングでも必要。

1日に8回くらい、1回につきコップ1杯の水分補給を目安にするとよいでしょう。水分だと何でもいいのかというと、ジュースは糖分が多いので飲み過ぎはカロリー過多になります。スポーツドリンクも意外と糖分が多いので運動や多量に汗をかいていない場合は飲み過ぎに注意しましょう。又、食事を抜くと、その分水分と塩分などの電解質も取れないので欠食しないことも重要です。

これからの季節、脱水や熱中症に注意しましょう。



こんにちは。地域医療連携室です。私たちは医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員が一つの部署として活動しています。

地域医療連携室では紹介状を持って受診された方の最初の窓口を担っています。不安な気持ちで受診された方にも安心感を持っていただけるように受付を行っています。また、お電話での受診相談も受けています。受付時間を知りたい、予約が必要な診療科はどうしたらいいか、受診の際にわからないことがありましたらまずは連携室にお電話ください。連携室は医療福祉のことでお困りの方の相談窓口でもあります。入院されている方、外来通院されている方どなたでも無料で相談できる窓口です。医療費が心配、在宅での生活に不安がある、福祉制度の話を知りたい、ケアの仕方を知りたい等の心配事がある方は看護、福祉の専門職がお話を伺いますので、お気軽に連携室までお立ち寄りください。



七夕飾り

総務課 川原 美沙

毎年当院では、七夕の時期になると玄関ロビーに笹を飾っています。

今年は残念ながら新型コロナウイルスの為、来院された皆様に願いを書いていただけませんでした。院内保育園の子供たちが作ったかわいらしい七夕飾りと、職員の子供たちの願い事を書いた短冊を飾りました。

短冊に書かれた願い事には…

「家がはやくたって、かそくがへいわにくらせますように」

「試合でホームラン打てますように」

「ショベルカーがほしい」

「早くみんなでキャンプに行きたい」

など、それぞれ願いのこもった短冊が飾られていました。

どうか皆さまの願いが叶いますように。



飯塚市立病院外来担当表

2020年8月1日現在

診療科	受付時間	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前 8:20-11:30	15	(新患)古賀 志歩	(新患)古賀 正晃	(新患)花野	(新患)園田	(新患)園田	交代で1名
		16	花野	呼吸器 内科医師	古賀 志歩			
		17	膠原病 内科医師 (予約制)	武富	武富	循環器 内科医師	出口	
		18	園田	循環器 内科医師	膠原病 内科医師 (予約制)	花野		
		19	古賀 康秀	松尾	血液 内科医師	松尾	古賀 康秀	
		20	出口	西嵩 鍵山		出口	西嵩	
		21	鍵山	鍵山	園田	鍵山	古賀 正晃	
脳神経内科	午前 8:20-11:30	6	高嶋 (初診/予約制)	高嶋 (再診/予約制)		高嶋 (再診/予約制)		
	午後 13:00-15:30	6	高嶋 (初診/予約制)					
小児科	午前 8:20-11:30	2	種吉	種吉	種吉		種吉	
	午後 14:30-16:00	2	種吉	種吉	種吉		種吉	
外科	午前 8:20-11:30	8	高木	吉田純	岡部	兒玉	良永	交代で1名
		9	三笠	高木	吉田純	良永	良永	
		10			三好 (予約制)			
	午後 13:30-15:30	9				良永 (第1,3週 肛門外来)	良永 (第2,4週 乳腺外科)	
呼吸器外科	午前 8:20-11:30	10		濱田				
整形外科	午前 8:20-11:00	1	亀川	野口	川崎	亀川	亀川	交代で1名
		2	川崎	浦田	派遣医師 (第1,3週 手の外科外来) (第2,4週 肩関節外来)	野口	野口	
		4	浦田	大串	宮崎	浦田	川崎	
		5	吉田拓	吉田拓	深川	大串	深川	
	午後 13:00-14:30	1				派遣医師 (第2,4週 脊椎・背髄外来)	派遣医師 (第1,3週 脊椎・背髄外来)	
脳神経外科	午後 14:00-15:30	13	派遣医師					
皮膚科	午前 8:20-11:30	3	江崎	江崎	江崎	江崎	江崎	
		4	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	
泌尿器科	午前 8:20-11:30	2				派遣医師		
	午後 13:30-15:30	2		派遣医師		多田 (第1,2,3,5週)		
		14:00-15:30	2	派遣医師				
眼科	午前 8:20-11:30	1	山下	山下	山下	山下 (第1,3,5週)	山下	
		2	佐藤	佐藤	派遣医師	佐藤		
耳鼻咽喉科	午前 8:20-11:30	2	桑野	桑野	桑野	桑野	桑野	
	午後 13:30-15:30	1		派遣医師		派遣医師	派遣医師	
		2	桑野		桑野		桑野	
小児科	午前 8:20-11:30	1	武富		出口		大隈	

※医師の予定は、都合により変更があります。(ご不明な点は各科診療窓口へご確認ください。)

※小児科の午後診察は、市の健診や予防接種に出務のため不在の場合がありますので、事前にお電話でお問い合わせ下さい。

※休診日：土曜日午後・日曜日・祝日・12月29日～1月3日(年末・年始のため)

※面会時間につきましては、飯塚市立病院ホームページをご確認ください。

■職員募集

【看護師・看護助手・介護福祉士】雇用形態：いずれも正職員
 応募資格：看護師については看護師免許取得予定の者で夜勤可能な者
 ※詳細は、0948-22-2980(内線2427)総務課波多までご連絡ください。

■基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様へ愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします。

■基本方針

- 1.すべてのスタッフによるチームケアおよび医療安全対策をより一層推進する。
- 2.地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 3.救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- 4.へき地医療支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 5.臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。

 公益社団法人 地域医療振興協会
 Japan Association for Development of Community Medicine

飯塚市立病院

〒820-0088 飯塚市弁分633-1
 TEL : 0948-22-2980 FAX : 0948-24-3812
 HP : <https://iizukacityhp.jp/>

